



中野区長と 外国人留学生 の懇談会

「日本の中野から
世界のNAKANNOへ
～グローバル都市を
めざして～」

2016.6.28

明治大学国際日本学部の学生7名が参加

懇談会の概要

本懇談会は、中野区と明治大学国際日本学部山脇ゼミの共催、中野区観光協会・中野区国際交流協会の協力のもと、明治大学中野キャンパスにて、2016年6月28日に開催されました。

2つのサブテーマ

中野区のグローバル化をテーマに、以下の2つのサブテーマについて話し合いました。

- (1) インバウンド観光
- (2) ユニバーサルデザイン

懇談会の趣旨

海老沢政策室副参事（企画担当）「中野がグローバル化の流れに参入し、“外国人の住みやすい街づくり”を進めていくために、今回のディスカッションで良いヒントやきっかけを得たい。」

参加者	出身国
徐 麗娜	中国
Fredrik Persson	スウェーデン
Shun Gee	アメリカ/日本
李 ガヒョン	韓国
Eugene Kao	台湾
石関 まり	アメリカ/日本（交換）
青山紗弓	日本
田中 大輔 中野区長	日本
石井 大輔 中野区副参事	日本
海老沢 憲一 中野区副参事	日本
藤永益次 中野区副参事	日本
山脇 啓造 明治大学教授（司会）	日本



明大国際日本学部 山脇ゼミ

2013年度以来、中野区における多文化共生のまちづくりに向けて、活動をしています。

編集・発行：明治大学 山脇ゼミ
（編集担当 柳川 優香）

発行日：2016年10月5日

インバウンド観光



ハイブリッドな街

「初めて中野を訪れた時、中野は人でにぎわう商店街のようなところという印象を受けた。その一方で、セントラルパークなど自然豊かな場所もあり、オフィス街もあり、中野はさまざまな顔を持つハイブリッドな街だと思う。外国人観光客に向けた情報発信のためには、中野駅前に、小さなスペースでもいいから、外国人が尋ねることのできる場所を設けるとよい。」

ユージン・カオ（台湾）



第二の秋葉原

「日本のアニメが好きで、秋葉原に行ってみたくて言っている友達が多い。中野にもブロードウェイのようにアニメ・マンガ文化の聖地があるので、友達を中野に連れていきたいと思っている。観光パンフレットを駅に置いたり、観光サポートセンターのようなものがあるといい。スマートフォンなしでも済むぐらい簡単に観光できるように、わかりやすい地図があると便利。」

シュン・ジー（アメリカ）

中野区のインバウンド観光戦略

藤永益次都市観光・地域活性化担当副参事

中野区は、都市観光サイト「まるっと中野」を開設し、中野の観光情報を発信している。現在は閲覧者のほとんどが日本人なので、今後は外国人旅行者向けのサイト作りをしていきたい。

国際日本学部の佐藤ゼミとも連携し、学生たちの記事を掲載する事業も行っている。その他の大学とも協力し、中野にゆかりのある芸能人のライブの開催、留学生の協力のもと、外国人観光客向けの動画やパンフレット作成なども行い、中野にやってくる外国人観光客が増加し、中野を楽しんでもらえるよう、さまざまな事業に取り組んでいきたい。



地域のつながり

「中野は23区の1つで、都会だけど、地域のイベントが多く、人のつながりが深い街だと思う。実際に参加してみて、年齢関係なく楽しめるイベントだと実感した。ただ外国人の参加者は少なかった。外国人観光客を増やしていくためには、電車内や駅の構内の外国人向けの案内表示を充実させることが求められていると思う。新宿駅では、絵と英語表記でわかりやすいものになっている。」

青山 紗弓（日本）



ユニバーサルデザイン



一人暮らしの難しさ

「いろいろな手続きや支払いが留学生にとってはとても難しく、サポートの厚いシェアハウスに住んでいた。ビザ更新など、大切な書類の手続きの際には、さらにサポートが必要になってくると思う。日本は英語が話せない人が多いし、英語表記のメニューや看板も少ない。実際にスウェーデンから友達が来た時には、「日本語の話せるフレッドがいなかったら絶対に困っていた」と言われた。今後さらなる工夫が求められるのではないか。」

フレドリック・ペルソン (スウェーデン)



言語表記の工夫

「哲学堂公園の桜が大好きで、春になるとよく訪れるけれど、行き方の案内が外国人には不十分だと思う。公園で外国人の方を見かけることは少ない。自分が海外旅行に行くときは、英語表記をチェックしている。外国人が暮らしやすい街づくりのためには、英語・中国語・韓国語の3つが重要なのではないかと思う。」

徐 麗娜 (中国)



都会暮らし

「10年間日本に住んでいるので、暮らしていてあまり困ったことはないが、初めて都会に暮らしている。さまざまな施設が立ち並んでいることもあって、どこにスーパーがあるのか、どこにバス停があるのかがわかりにくく、一緒に暮らす留学生のルームメイトがとても苦労している。」

石関 まり
(アメリカ・日本)



サポートしてくれる存在

「日本で暮らしていて、困ったことはあまりないが、それは大家さんのおかげだと思っている。ごみの捨て方や病院・薬局の場所を教えてくれた。部屋のライトが壊れたときには、ライトを捨てる場所を教えてくださいとても助かった。留学生をはじめとし

た外国人が日本で暮らしていくためには、こういったサポートしてくれる存在が必要不可欠。」

李 ガヒョン (韓国)





会場からの質問

留学生への質問

中野（駅周辺以外）でお気に入りの場所は？

ユーチャン：平和の森公園

フレドリック：四季の森公園（セントラルパーク）

麗娜：哲学堂公園

理由

ユーチャン「平和の森公園でランニングをするのが好き。」

フレドリック「子どもが遊ぶことのできる環境が整っているのが素晴らしい。」

麗娜「哲学堂公園の桜が大好き。」

おわりに

田中区長

「留学生が中野に好意をもってくれていることが、非常にうれしい。そしてもっともっと中野の魅力を知ってもらいたいと、今回の対話を通じて思った。そのためには、自分たちだけのかたい頭だけでなく、留学生の方々から積極的に意見を聞き、お手伝いいただく必要があると感じた。住まいの問題については、シェアハウスのような通常の住宅とは異なる新しい形の物件が、外国人には魅力的だということを知り、驚いた。地域住民からの視点、留学生からの視点、両方から考えていきたい。」



山脇教授

「大学と区の連携を深めて、中野の街づくりに学生たちが貢献していけるような関係を築いていきたい。中野のグローバル化と多文化共生について、今後も区と大学が一緒になって考えていけるとよいと思う。」

